

佐土原 R C
週報



国際ロータリー第2730地区
佐土原ロータリークラブ
例会日 毎週金曜日 12:30-13:30
例会場 ホテル神宮寺 0985-73-0015

自分を超えた眼を
Look Beyond Yourself

Raya
ラジエンドラ・K. サバー
1991~1992年度R I 会長

ロータリー雑誌月間

1992. 4. 17 (金) 第217回例会

1. 点鐘
2. ロータリーソング「奉仕の理想」
3. 「四つのテスト」唱和
4. 食事
5. 会長の時間
6. 幹事報告
7. 各委員会報告
8. 卓話
9. 点鐘

第216回例会記録

(1992. 4. 10)

会長の時間 濱田 松太郎

皆さんは今日は、本日は第216回例会です。先週4月3日は西佐土原宝塔山におきまして観桜会を開催しましたが、長いこと降り続いた雨が止み、久振りの上天気に恵まれたうえ、桜花もほぼ満開という極めて絶好のチャンスを与えられまして、夜桜の何とも言いようのない美しい粧いを満喫しながら、ロータリーの最も大事な親睦の輪が拡がり一段と盛り上りました。

当クラブの今後の活性化に向けての飛躍台ともとれる価値観を一層深めたものと認識し、大変嬉しく思い、厚くお礼申し上げます。

この気持をもちまして、会員一同団結し、さらに会員増強に一段の奮起を皆様共々お願い申し上げます。

さて、去る4月5日に、クラブ会長エレクトセミナー並びにロータリー財団セミナーのため

会長代理藤堂孝一君と僕の二人で鹿児島市へ行きました。参加範囲は、2730地区鹿児島・宮崎56クラブ全体でした。僕の出席したロータリー財団セミナーについて簡単に申上げることにします。

2730地区は、財団に対する寄付率が最下位であることが強く告げられました。皆さん一層の奮起をお願いします。なお、当クラブは、1人当80ドルの設定になっております。

大分のクラブは全員が準フェローだそうです。私どもも見習いたいものであります。

今年は第6代R I会長アーチ・クランフ氏がロータリー財団の構想を打出されてから、75周年の記念日を迎えます。ロータリー財団の仕組につきましては、すでに皆様ご承知のこととは存じますが、先ずロータリー財団基金の資金とは、ベネファクターからの寄付と、今年から新設された、現金にして1000ドルの寄付金で、元金は決して使われませんが、その収益金(利息)を一般ロータリー財団へ廻すことになります。次に、一般資金はポール・ハリス・フェロー、ボリオ・プラスへの寄付により賄われ、このお金が8つの部門へ振り分けられて支出される仕組になっています。8部門は次のとおり。

①ボリオ・プラス 注射をする医師、冷蔵庫等

②奨学金 本年は9名を当地区から選出予定

③研究グループ交換 (G. S. E) 目下アルゼンチンと交渉中

④3日補助金 (保健・飢餓追放・人権尊重)

事務局〒880-03宮崎県宮崎郡佐土原町大字上田島204宮崎食品サービス内TEL 0985-740044
会長 濱田松太郎・副会長 児玉武文・幹事 鈴木正敏・会計 藤堂孝一・会報責任者 垂水敏雄

⑤同額補助金
⑥ロータリー平和プログラム
⑦開発途上国で教鞭を執る大学教授
⑧ロータリー・ボランティア
世界の人々の理解と友好関係を深めることを目指しているわけであります。

幹事報告 鈴木 正敏
例会変更通知
・宮崎中央RC 4月16日 18:00~
創立記念夜間例会
4月30日 特別休会
・宮崎南RC 4月20日 宮崎市消防局
・延岡東RC 4月28日 18:30~
ガーデンベルズ延岡
・小林RC 4月29日 休会
5月6日 九竜小林営業所
・日向中央RC 4月29日 休会

出席報告 委員長代理 岩切 正司
会員員数 18名
欠席者名 2名
H.C.出席者数 16名
出席率 88.89%
欠席者 岩切・齊藤

ビジタ - (4月3日分)
宮崎南RC 大木 正垣君
西都RC 河野 謙二君・池水 利寿君
" 宇治野 稔君
(4月10日分)
宮崎RC 内村 時雄君
西都RC 藤井 邦弘君

親睦委員会より 委員長 山脇 忍
4月セレモニーは、本月誕生日を迎える次の会員に、会長より記念品を贈り祝福いたします。

郡司 武俊君・垂水 敏雄君

*以上の方から多額のハッピーをいた

だきましたので、厚くお礼を申し上げます。

受祝者のハッピー・ボイス

40代まであと3年、ゴルフ・テニスで体を鍛えて、いつまでも30代の体でいたいと思います。お祝いをいただき、ありがとうございます。
郡司 武俊

65歳を過ぎると、1年の経つのが加速度的に早くなります。充実した日々をと、思うばかりです。誕生日の記念品をいただき、心からお礼申し上げます。
垂水 敏雄

会員卓話(I) 岩切正司君

今日は「話の仕方」についてお話ししたいと思います。私は仕事がらしゃべることが多いのですが、話の内容がよければ、皆さんから喜んでいただけるようです。

昔から、話は一声、二声、三内容と言われています。特に女性の前で話すときには、服装・顔・声も大切です。通る声、迫力のある声が聴衆を引きつけます。

話をしなければならない前の晩に、原稿を一杯書いておられる方がいます。これだけしゃべれば聴き手は満足されるだろう、話す自分の方も満足できるだろう、と考えてのことでしょう。

しかし、話というものは、内容は極く少なめにして、それをいかに相手に訴えていくかがポイントであろうと思います。ただ話すというだけでは盛り上がりません。聴き手が引き込まれていくような話しが大事なのです。

話す時間は、午前10時~11時頃が適当なようです。食後直ぐは、眠気が生じ、話を聞くたくない状態になりますので、なるべく避けたほうがよいと思います。

話す時の視線は、聴く人と同じ高さがよいと思います。相手に何かを頼むときなど、相手より上方からの視線で頼む相談をすると、たいてい「否」と応じられますが、相手より下からお願いすると、うまくいく場合が多いようです。
(以下 次号へ続きます。)